

鳴門市の水道事業

～地震に強い水道を目指し、水道管の更新・耐震化を進めています～

水道は私たちの暮らしに欠かせない重要なライフラインです。もし大きな地震が起きて水道が止まってしまったら、お風呂やトイレが使えなくなることはもちろんのこと、飲み水も蛇口から出ません。そのような状況にならないために、地震に強い水道づくりを目指し、水道管の耐震化を行なっていく必要があります。市では水道管の更新に併せて耐震化を進めていきます。

鳴門市の水道管……

◆歴史と普及率

鳴門市の水道事業は昭和7年に撫養町から給水を開始し、その後、水道水を安定して給水するため継続的に拡張を行ってきました。平成24年度末の水道普及率は人口比率で99.9%です。

◆水道管の延長

水道管は市内に網目状に埋まっており、総延長は現在約558*[□]。これは鳴門から東京までの直線距離を超えるほどの長さです。

水道管の更新……

◆老朽化した水道管の増加

昭和30年代から50年代にかけ、給水区域拡張のため、多くの水道管を新設しました。これら水道管の一部には、経年劣化で老朽化しているものもあり、これから順次更新の時期を迎えます。将来にわたって皆さんに安全安心な水道水を安定して届けていくためには、計画的な水道管の更新が必要です。

水道管の耐震化……

◆更新に併せた耐震化

水道管の耐震化には多額の費用が必要です。限られた財源の中で効率的に耐震化を進めるため、更新の機会を「地震に強い水道」に変えていく好機と考え、耐震性能に優れた水道管(耐震管)を全面的に採用し、更新に併せて「耐震化」を進めています。

……耐震化の進行状況

◆更新事業

老朽管更新事業として、主要管のうち経年化した塩化ビニール管や鑄鉄管を中心に、平成21年度から35年度を期間とし、延長約56.7*[□]、総事業費約39億円で取り組んでいます。

平成25年度末での進行状況は、延長約17.5*[□]で、進捗率(進行率)が約31%になる予定です。

鳴門市ではこのような水道管(耐震管)を採用しています

耐震管の特徴と構造

管路の更新や新設に採用している水道管(耐震管)は、管と管をつなぐ部分(継手)の仕組みにより、地震によって地盤が変動した場合でも外れにくくなっています。この水道管は、阪神淡路大震災、東日本大震災においても、まったく被害がなかったと報告されています。

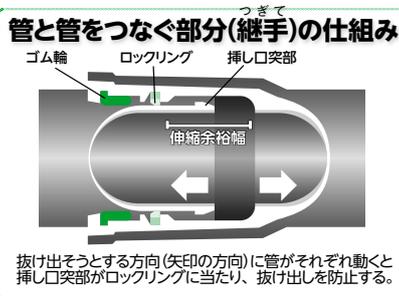
写真からはクレーンにより管路の中央を吊り上げられても、継手が抜けることなく、管路としての機能が損なわれていない様子が分かります。

計画的に水道管の更新・耐震化を進めるため、市内各所で水道工事を実施していきます。市民の皆様には断水のお願いや交通規制、騒音などでご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



■市民の皆さんの声を水道事業に反映させるため、無作為で抽出した方を対象に、7月頃に郵送によるアンケートを実施します。

【問】市企業局水道事業課 ☎685・3330
Eメール suidojigy@city.naruto.lg.jp



耐震管の吊り上げ実験の様子



水道メーター 取替工事にご協力を

各戸に設置している水道メーター(検定満了)の取替工事を、市水道指定業者協同組合に委託しています。同工事は、適正な計量の実施を確保するための法律(計量法)で定められた取り替えで、通常の検針と同じく、不在の場合でも行います。ご理解とご協力をお願いします。作業員は身分証明書を必ず携帯しています。不審な点があれば身分証明書の提示を求め、水道事業課へお問い合わせください。

【協同組合加入業者(50音順)】 阿部水道工事店・(有)大西水道工業・(有)小川工業・開発水道工業所・(有)金沢水道・(有)田中設備工務店・手塚水道設備・東洋住設・鳴門汽缶・前田設備(有)・松下興業(株)・(有)松下水道工業所・(有)米田水道